

令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区藤前活動センター空調改修工事

機械設備図	
図番	図名
M-01	機械設備特記仕様書（その1）
M-02	機械設備特記仕様書（その2）
M-03	空調設備 改修 機器表
M-04	空調設備 改修 系統図
M-05	空調設備 改修 1階平面図
M-06	空調設備 改修 2階3階平面図
M-07	計装設備 改修 系統図
M-08	計装設備 改修 1階平面図
M-09	計装設備 改修 2階3階平面図
M-10	空調設備 撤去 機器表
M-11	空調設備 撤去 系統図
M-12	空調設備 撤去 1階平面図
M-13	空調設備 撤去 2階3階平面図

令和7年3月

● 撤去 工事	<ul style="list-style-type: none"> ●保温材 ●支持金物等 ○石綿含有品 ●発生材の処理 ●冷媒(フロン類)の回収 	<p>保温材は、配管・ダクト等より分離する。</p> <p>ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。</p> <p>石綿含有分析調査 ○本工事 ○別途 撤去方法 ○図示による ○</p> <p>●金属類 (●機器類 ○ダクト ●配管 ●その他の金属) の処理は (○物品管理者に引き渡し ●構外搬出適切処理) とする。 ○特別管理産業廃棄物 (○ ○) の処理は (○別途 ○構外搬出適切処理) とする。 ○石綿含有産業廃棄物 ○配管用成形保温材○フッ素用ガスクラットの処理は (○別途 ○構外搬出適切処理) とする。 ○上記以外のもの (○ ○) の処理は (○別途 ○構外搬出適切処理) とする。</p> <p>●本工事 ○別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2. 4. 3により、次の書類を監督職員に提出する。 ○フロン回収行程管理表の写し ○特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し</p>
---------------	---	---

別表-1

品 目	機材等名

● そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ●週休2日制工事 	<p>1 本工事は、建設工事における週休2日制工事（現場閉所型）の対象工事である。</p> <p>2 週休2日の考え方 (1) 月単位の週休2日とは、現場施工期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められることをいう。 (2) 現場施工期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間受注者の責によらず現場作業を中断なくされる期間などは含まない。 (3) 月単位の4週8休以上とは、現場施工期間内における全ての月で現場閉所日数の割合が28.5% (8日/28日) 以上の水準に達する状態をいう。 通期の4週8休以上とは、現場施工期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28.5% (8日/28日) 以上の水準に達する状態をいう。 なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。 (4) 現場閉所日とは、巡回パトロール及び保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。 (5) 受注者の責によらない現場閉所 工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を中断なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、現場閉所による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。 (6) やむを得ない現場閉所 やむを得ず現場閉所による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休2日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう休日確保に務めるものとする。28.5% (8日/28日) 以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が、28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。通期の4週8休以上とは、現場施工期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28.5% (8日/28日) 以上の水準に達する状態をいう。</p> <p>3 現場閉所実績報告書 受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、監督職員が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。</p> <p>4 総合工事工程表の作成 受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。 (1) 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保 (2) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所設置等の「施工準備期間」 (3) 施工終了後の自主検査、後片づけ、清掃等の「後片づけ期間」 (4) 降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数</p> <p>5 工事工程の共有 (1) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。 (2) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのかわ）について受発注者で共有するものとする。 (3) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実情にあったものとなるよう配慮するものとする。 (4) 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。</p> <p>6 現場閉所の達成状況及び精査 現場施工期間における全ての月ごとの現場閉所率が28.5%に満たない場合は補正した労務費（公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工）、機械経費（賃料）、共通仮設費率、現場管理費率及び市場単価等を請負代金額の変更により減額するものとする。（労務費及び各経費の補正分は入札説明書等による。）</p>
------------------	--	--

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事			
図面名称	機械設備工事特記仕様書（その2）	縮尺	1 : NON	
年月日	令和7年3月	図面番号	M 02 / 13	
会社名		照査	設計	
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長	担当

空調機器リスト

記号	名称	仕様	電源	設置場所	台数	備考
GHP 1	空調室外機	ガスヒートポンプ式ビル用マルチ室外機、20HP相当 都市ガス13A、重耐塩仕様 能力 冷房：56.0kw 暖房：63.0kw	3φ200V 冷房 1.24kW 暖房 0.74kW	屋外	1	防振架台 他付属品一式 共
GHP 1-1	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：5.6kw 暖房：6.3kw	1φ200V 冷房 25W 暖房 25W	1階：レクチャー準備室	1	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 1-2	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：3.6kw 暖房：4.0kw	1φ200V 冷房 20W 暖房 20W	1階：資料保管庫	1	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 1-3	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：5.6kw 暖房：6.3kw	1φ200V 冷房 25W 暖房 25W	1階：レクチャールーム	4	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 1-4	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：7.1kw 暖房：8.0kw	1φ200V 冷房 35W 暖房 35W	1階：会議室	2	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 2	空調室外機	ガスヒートポンプ式ビル用マルチ室外機、20HP相当 都市ガス13A、重耐塩仕様 能力 冷房：56.0kw 暖房：63.0kw	3φ200V 冷房 1.24kW 暖房 0.74kW	屋外	1	1階事務室 集中リモコン（2階・3階用） 防振架台 他付属品一式 共
GHP 2-1	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：7.1kw 暖房：8.0kw	1φ200V 冷房 35W 暖房 35W	2階：多目的スペース	2	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 2-2	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：11.2kw 暖房：12.5kw	1φ200V 冷房 95W 暖房 85W	3階：展望スペース・ライブラリー	2	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 2-3	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：2.8kw 暖房：3.2kw	1φ200V 冷房 20W 暖房 20W	1階：ホール・展示スペース	2	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共
GHP 2-4	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：3.6kw 暖房：4.0kw	1φ200V 冷房 20W 暖房 20W	1階：事務室	1	ワイヤードリモコン 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 他付属品一式 共

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

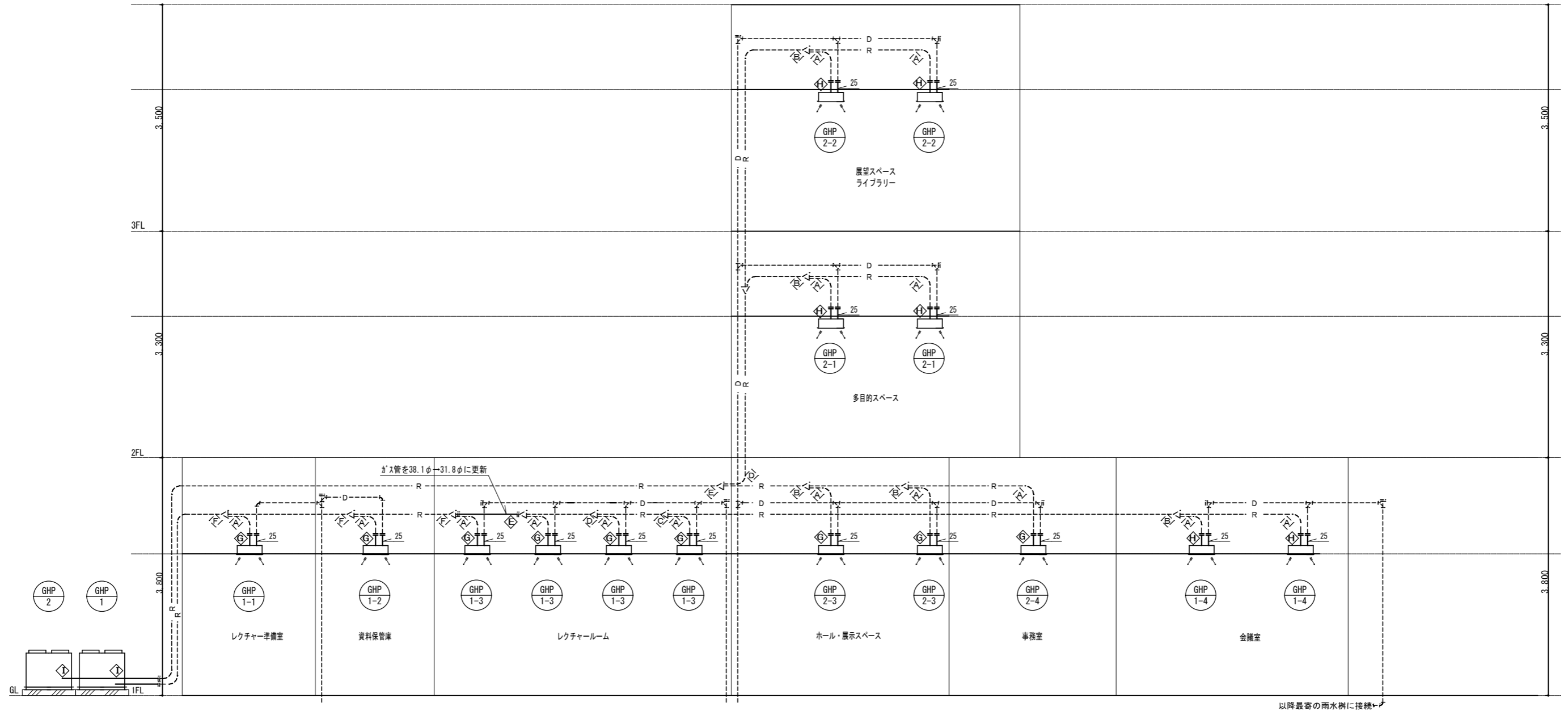
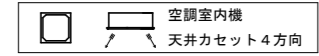
工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター改修工事			
図面名称	空調換気設備 改修 機器表	縮尺	1 : NON	
年月日	令和7年3月	図面番号	M 3 / 13	
会社名		照査	設計	
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長	担当

配管サイズ表

記号	ガス管	液管
△	15.88	9.52
▽	19.05	9.52
◇	28.58	12.7
◇	31.75	15.88
◇	31.75	19.05
◇	38.1	19.05
◇	12.70	9.52
◇	15.88	9.52
◇	28.58	15.88

凡例

— R —	冷媒管 (更新)
— D —	ドレン管 (更新)
- - - R - - -	冷媒管 (流用)
- - - D - - -	ドレン管 (流用)
□	空調個別リモコン



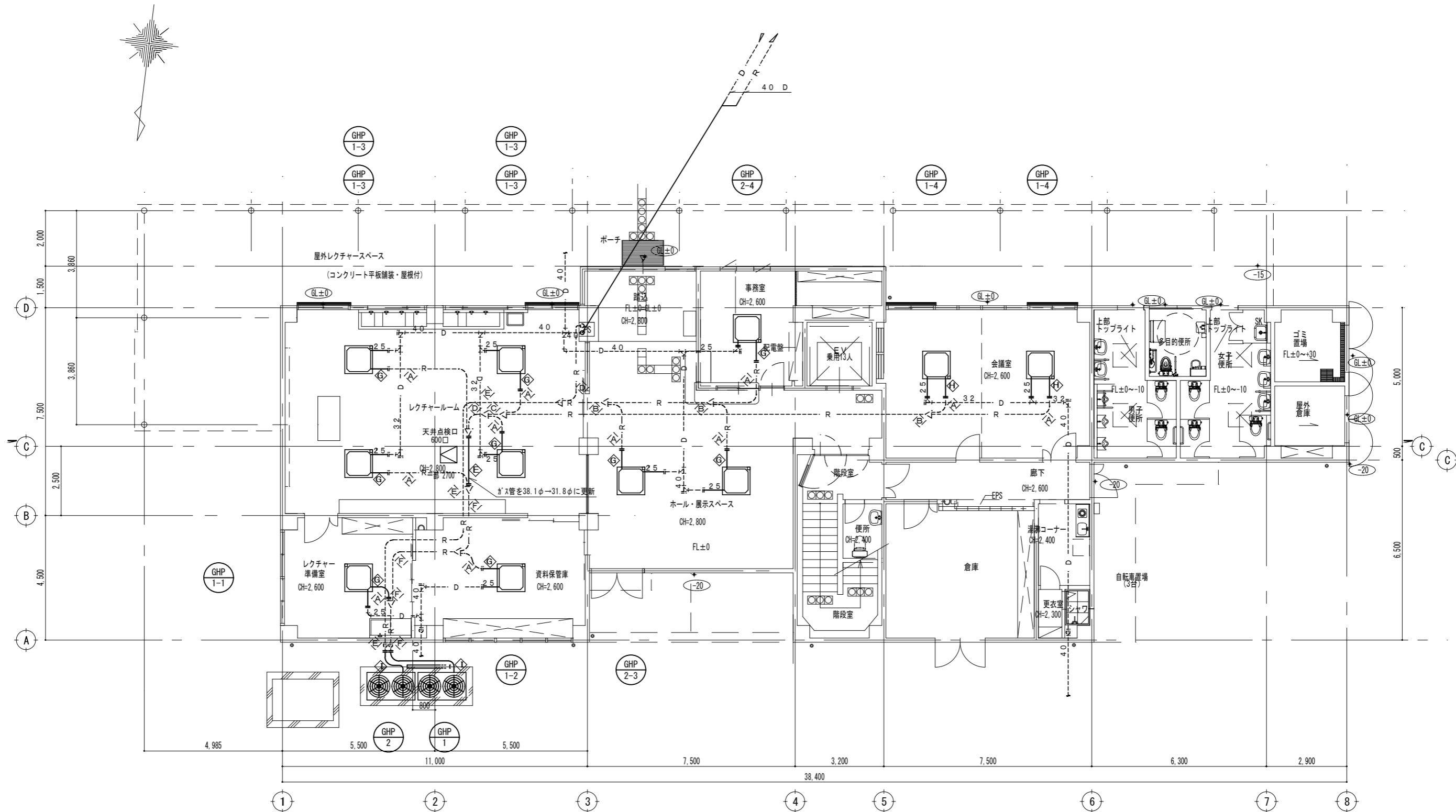
以降最寄の雨水樹に接続

注記)

- ・特記無き配管は天井配管を示す。
- ・室内機・室外機間の配線EM-CCE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、再接続を行う。
- ・電源配線は流用とし、再接続を行う。
- ・---は、既設配管に接続箇所を示す。(屋内冷媒管は火無し継手)
- ・冷媒管の屋内外露出部は、ステンレスラッキング仕上げとする。

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事			
図面名称	空調設備 改修 系統図	縮尺	1 : NON	
年月日	令和7年3月	図面番号	④ M	04 / 13
会社名		照査	設計	
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長	担当



配管サイズ表

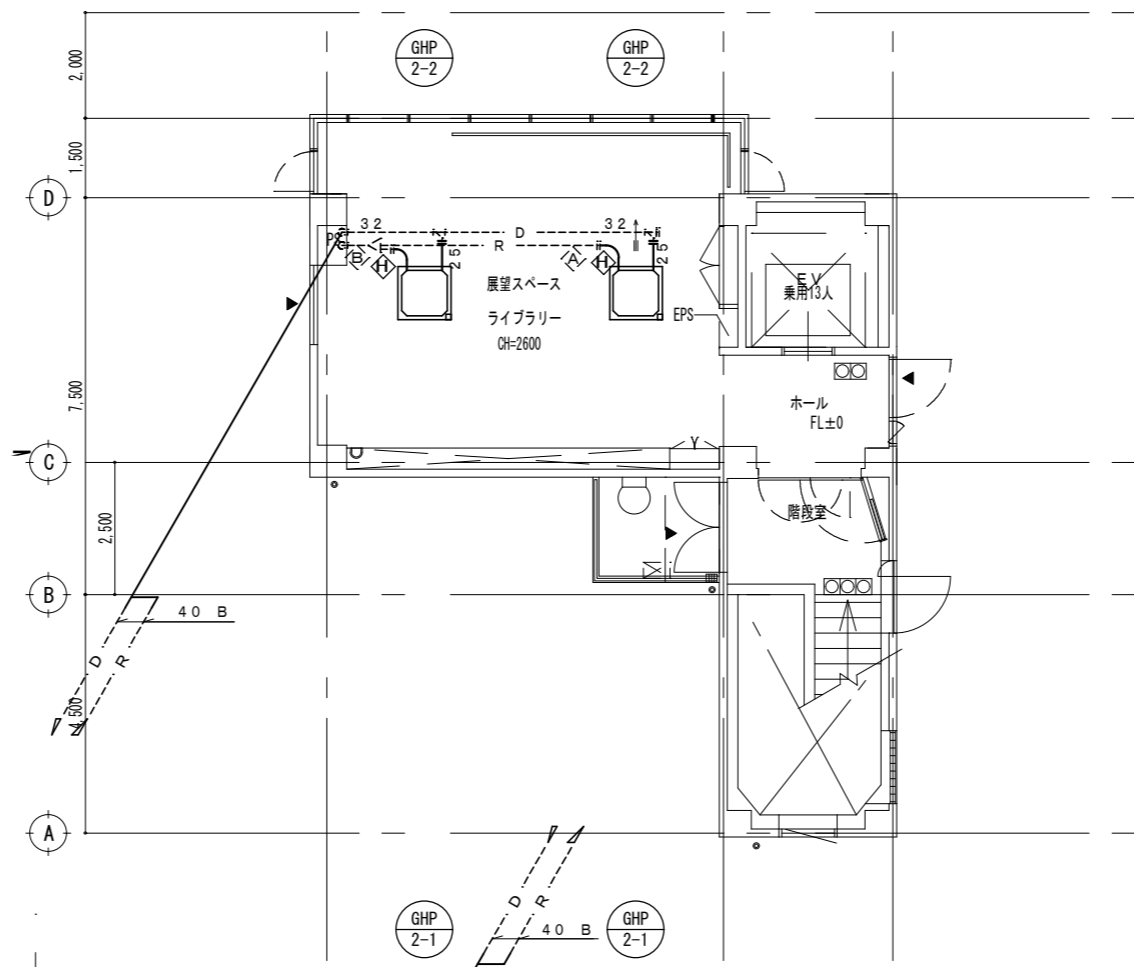
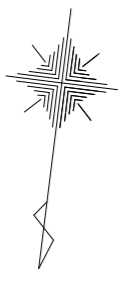
記号	ガス管	液管
△	15.88	9.52
▽	19.05	9.52
◇	28.58	12.7
◇	31.75	15.88
◇	31.75	19.05
◇	38.1	19.05
◇	12.70	9.52
◇	15.88	9.52
◇	28.58	15.88

注記)
 ・特記なき配管は天井配管を示す。
 ・室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C(冷媒管共巻)は流用とし、再接続を行う。
 ・電源配線は流用とし、再接続を行う。
 ・---は、既設配管に接続箇所を示す。(屋内冷媒管は無火継手)
 ・冷媒管の屋内外露出部は、ステンレスラッキング仕上げとする。
 ・天井内の冷媒配管を更新するにあたり天井点検口600口を1箇所新設する。
 ・室外機への都市ガス配管はフレキ接続とする。

1階平面図 1/150

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	空調設備 改修 1階平面図	縮尺	1:150
年月日	令和7年3月	図面番号	● M 05 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当

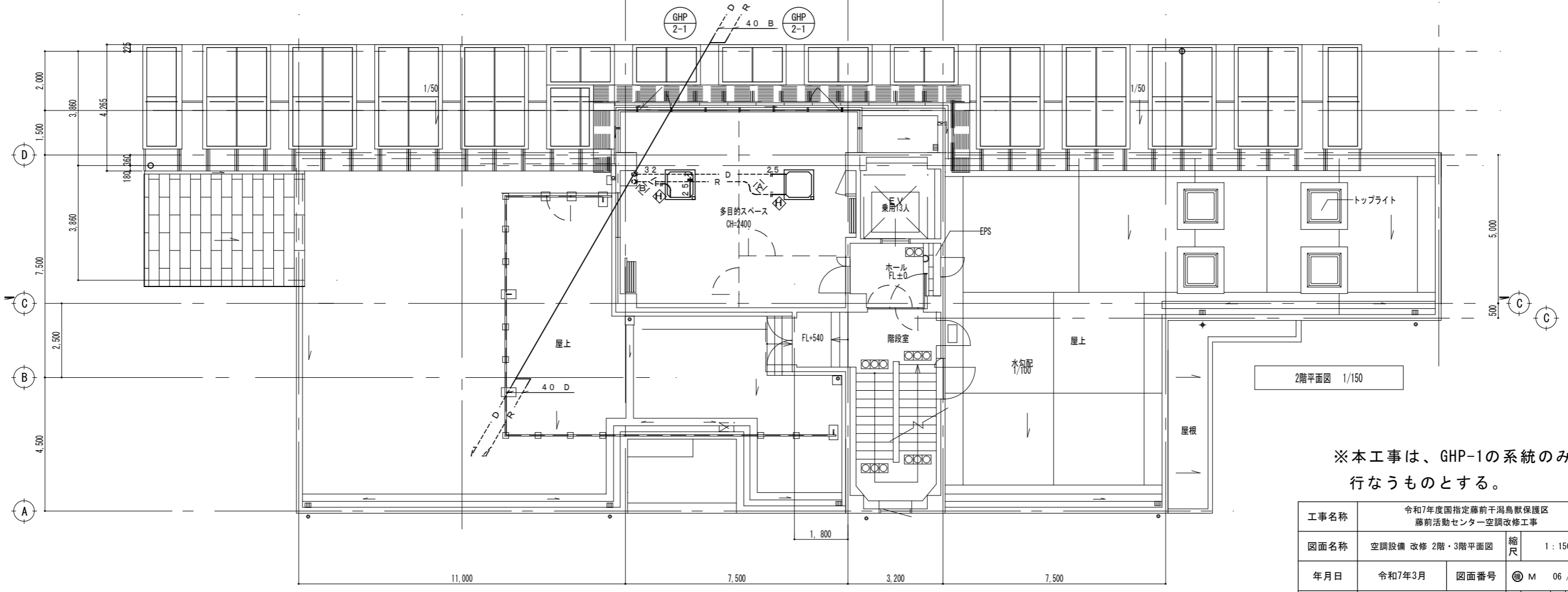


配管サイズ表

記号	ガス管	液管
①	15.88	9.52
②	19.05	9.52
③	28.58	12.7
④	31.75	15.88
⑤	31.75	19.05
⑥	38.1	19.05
⑦	12.70	9.52
⑧	15.88	9.52
⑨	28.58	15.88

- 注記
- ・特記無き配管は天井配管を示す。
 - ・室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C（冷媒管共巻）は流用とし、再接続を行う。
 - ・電源配線は流用とし、再接続を行う。
 - ・---は、既設配管に接続箇所を示す。（屋内冷媒管は火無し継手）
 - ・冷媒管の屋内外露出部は、ステンレスラッキング仕上げとする。

3階平面図 1/150

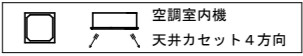
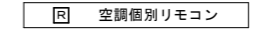


2階平面図 1/150

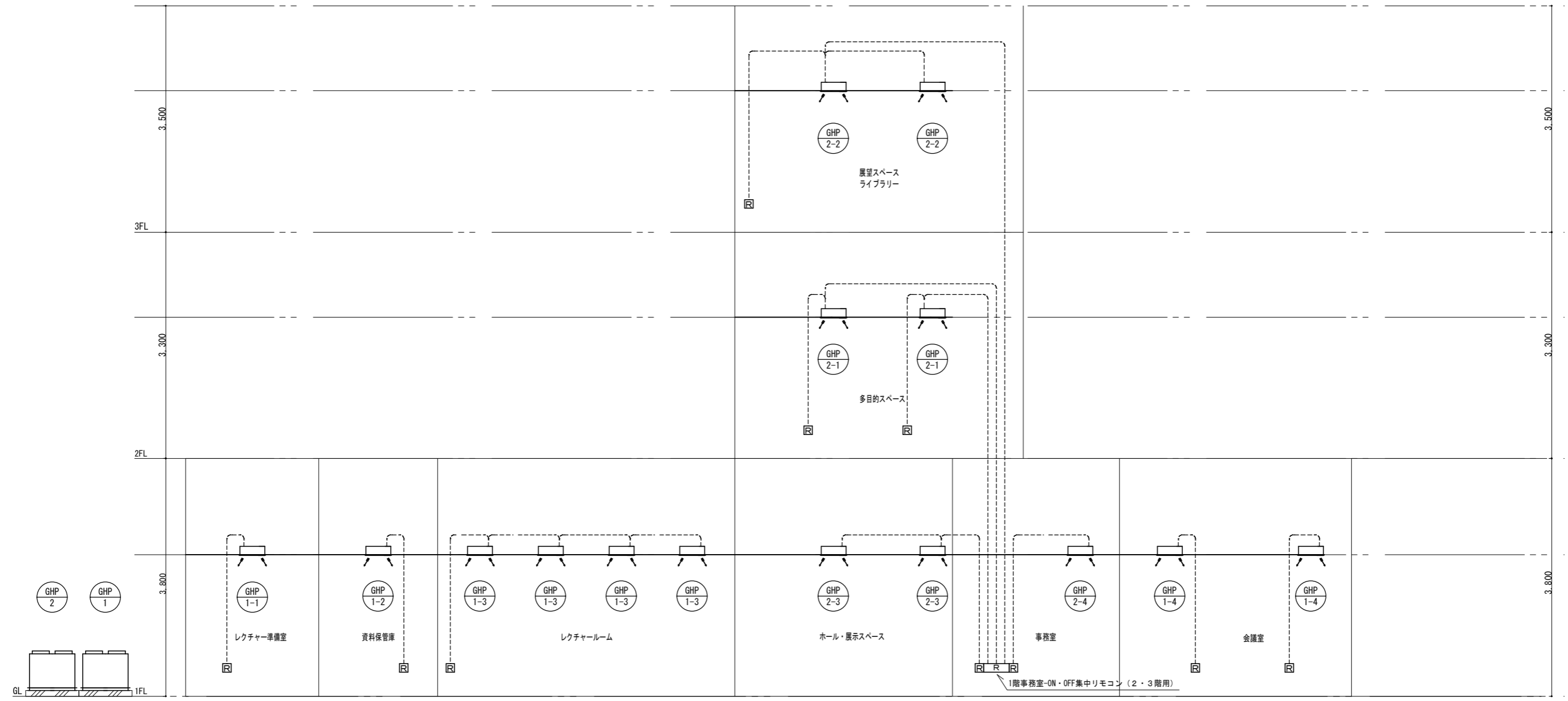
※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	空調設備 改修 2階・3階平面図	縮尺	1:150
年月日	令和7年3月	図面番号	④ M 06 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当

凡例



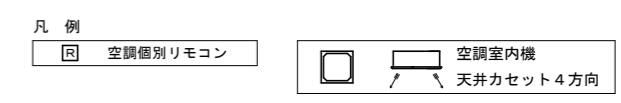
----- 空調リモコン配線は流用とし、結線のみ行う。
EM-CEE1. 25sq-2C (PE16)



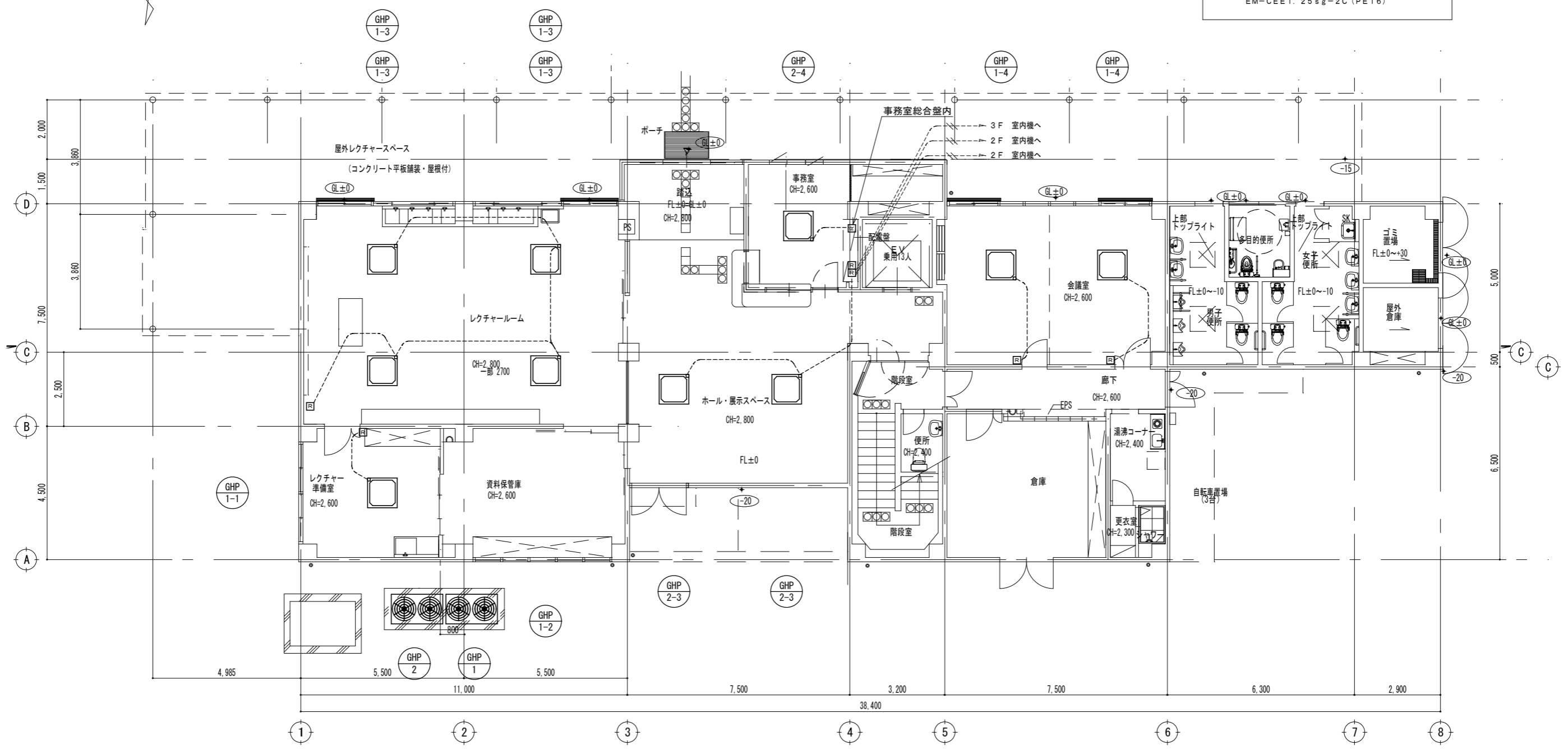
※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

注記)
・室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、離線のみ行う。
・電源配線は流用とし、離線のみ行う。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事			
図面名称	計装設備 改修 系統図	縮尺	1:NON	
年月日	令和7年3月	図面番号	④ M	07 / 13
会社名			照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長	担当



--- 空調リモコン配線は流用とし、結線のみ行う。
EM-CEE1.25sg-2C (PE16)

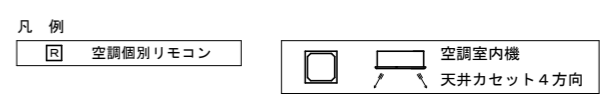
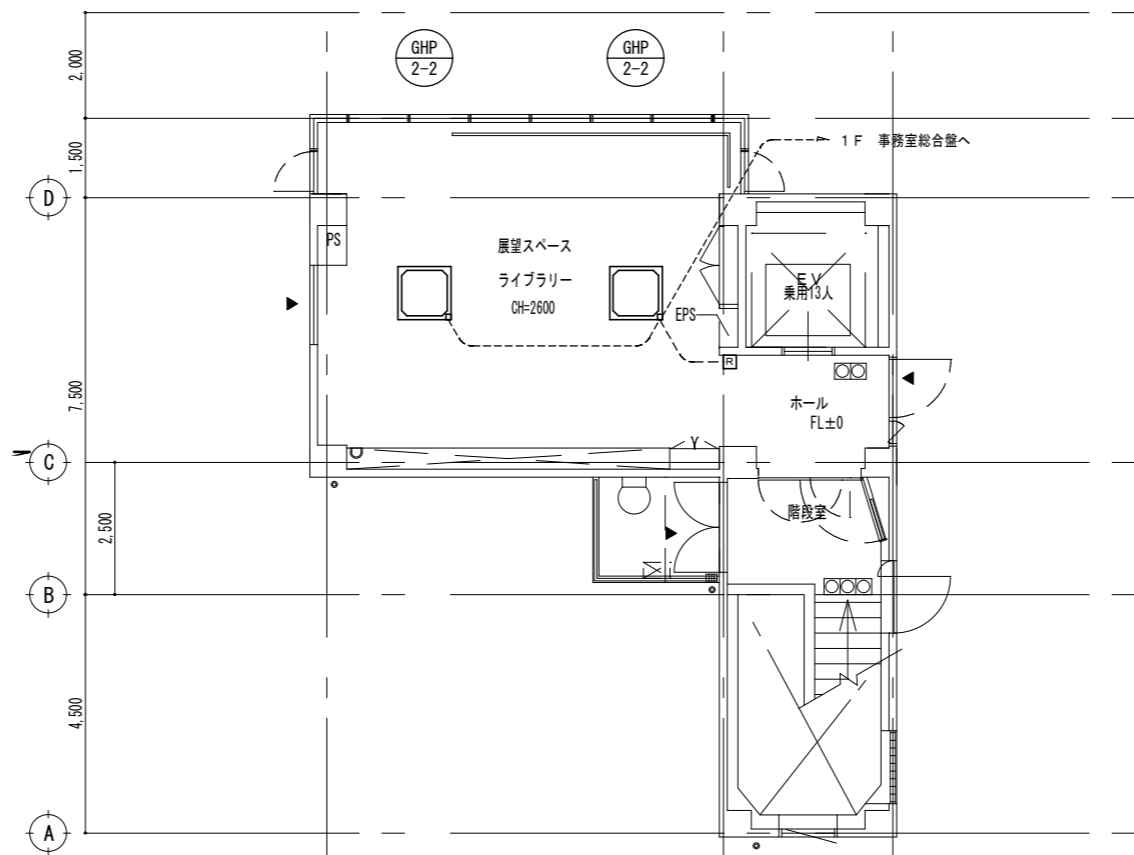


1階平面図 1/150

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

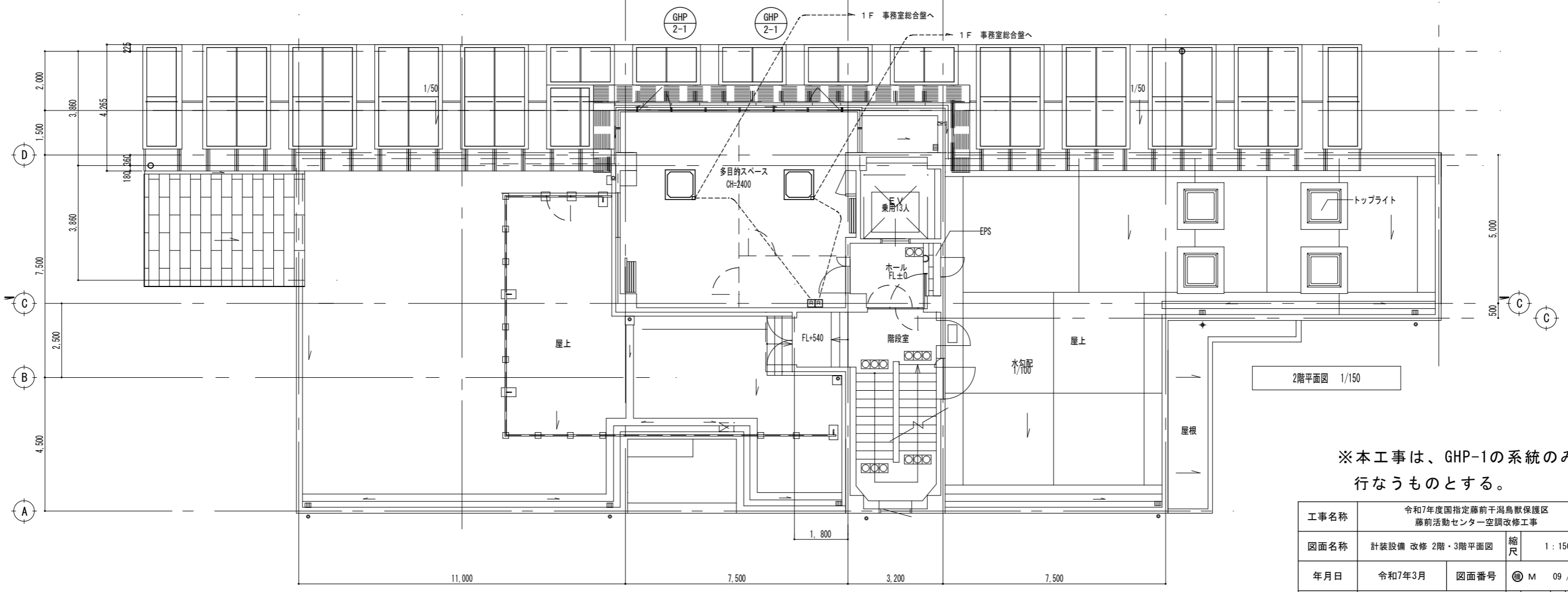
注記
・室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、離線のみ行う。
・電源配線は流用とし、離線のみ行う。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	計装設備 改修 1階平面図	縮尺	1:150
年月日	令和7年3月	図面番号	● M 08 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当



----- 空調リモコン配線は流用とし、結線のみ行う。
EM-CEE1.25sq-2C (PE16)

注記
 ・室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、離線のみ行う。
 ・電源配線は流用とし、離線のみ行う。



※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	計装設備 改修 2階・3階平面図	縮尺	1:150
年月日	令和7年3月	図面番号	④ M 09 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当

空調機器リスト **空調機器**

記号	名称	仕様	電源	設置場所	台数	備考
GHP 1	空調室外機	ガスヒートポンプ式ビル用マルチ室外機、20HP相当 都市ガス13A、重耐塩仕様 能力 冷房：56.0kw 暖房：67.0kw	3φ200V1.07kw	屋外	1	コンクリート基礎残置 参考品番：SGP-H560J2GZ(東邦ガス)
GHP 1-1	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：7.1kw 暖房：8.5kw	1φ200V41W	レクチャー準備室 資料保管庫 レクチャールーム×4 会議室×2	8	ワイヤードリモコン×5 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 参考品番：SGP-SH71J2N(東邦ガス)
GHP 2	空調室外機	ガスヒートポンプ式ビル用マルチ室外機、16HP相当 都市ガス13A、重耐塩仕様 能力 冷房：45.0kw 暖房：53.0kw	3φ200V1.07kw	屋外	1	コンクリート基礎残置 参考品番：SGP-H450J2GZ(東邦ガス)
GHP 2-1	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：7.1kw 暖房：8.5kw	1φ200V41W	多目的スペース×2 展望スペース×2	4	ワイヤードリモコン×3 共 1階事務室 集中リモコン(2・3階用) インテリアパネル、防振吊金具 共 参考品番：SGP-SH71J2N(東邦ガス)
GHP 2-2	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：5.6kw 暖房：6.7kw	1φ200V34W	展示スペース×2	2	ワイヤードリモコン×2 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 参考品番：SGP-SH56J2N(東邦ガス)
GHP 2-3	空調室内機	天井カセット形4方向吹出 ドレンアップ仕様 能力 冷房：4.5kw 暖房：5.3kw	1φ200V32W	事務室	1	ワイヤードリモコン×1 共 インテリアパネル、防振吊金具 共 参考品番：SGP-SH45J2N(東邦ガス)

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター改修工事			
図面名称	空調換気設備 撤去 機器表	縮尺	1:NON	
年月日	令和7年3月	図面番号	M 10 / 13	
会社名		照査	設計	
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長	担当

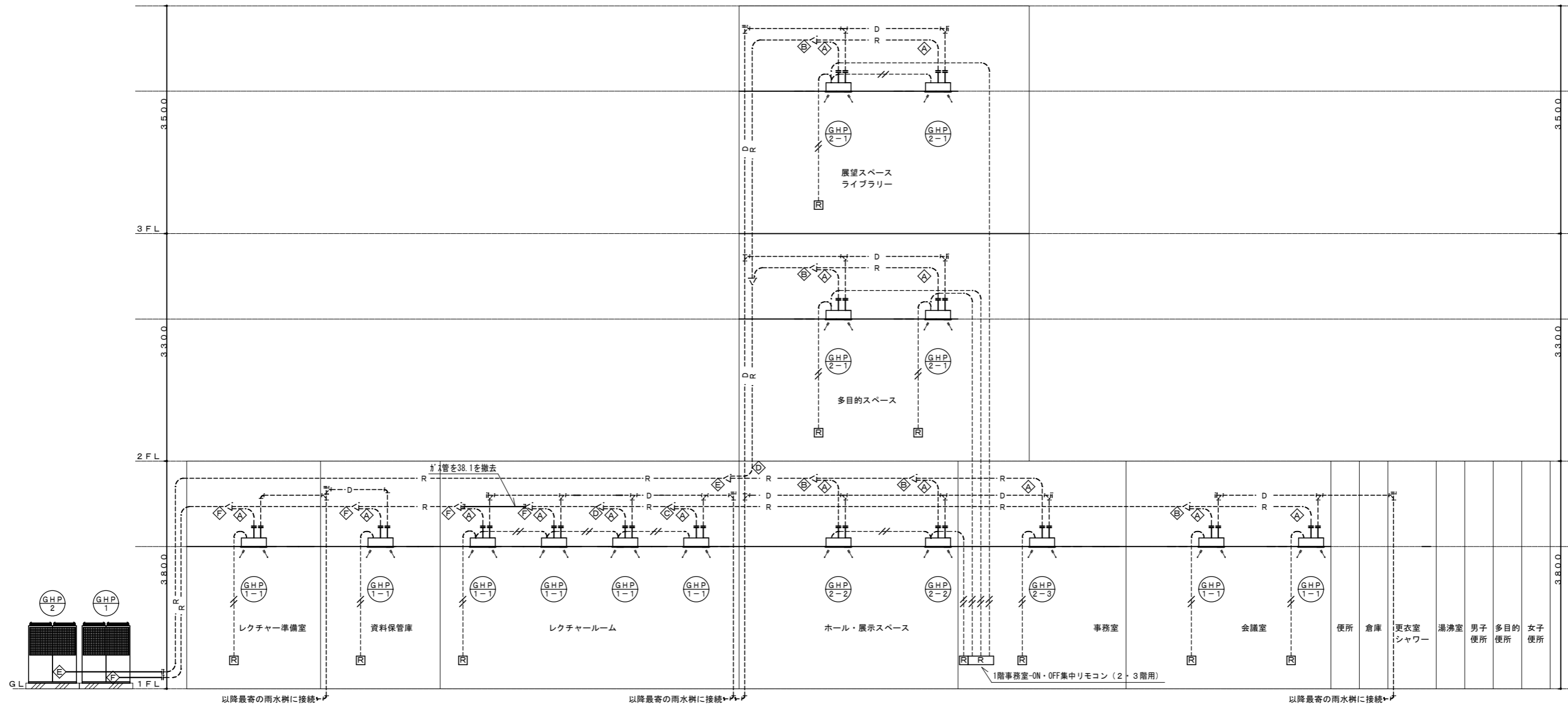
配管サイズ表

記号	ガス管	液管
△	15.88	9.52
◇	19.05	9.52
○	28.58	12.7
◇	31.75	15.88
△	31.75	19.05
◇	38.1	19.05

凡例

—R—	冷媒管 (撤去)	□	空調室内機
—D—	ドレン管 (撤去)	↙ ↘	天井カセット4方向
- - - R - - -	冷媒管 (流用)		
- - - D - - -	ドレン管 (流用)		
□	空調個別リモコン		

--- 空調リモコン配線は流用とし、離線のみ行う。
EM-CEE1. 25sq-2C (PE16)



※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

注記
 ・室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、離線のみ行う。
 ・電源配線は流用とし、離線のみ行う。
 ・--- は、既設配管の切断部分を示す。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	空調設備 撤去 系統図	縮尺	1:NON
年月日	令和7年3月	図面番号	④ M 11 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当



配管サイズ表

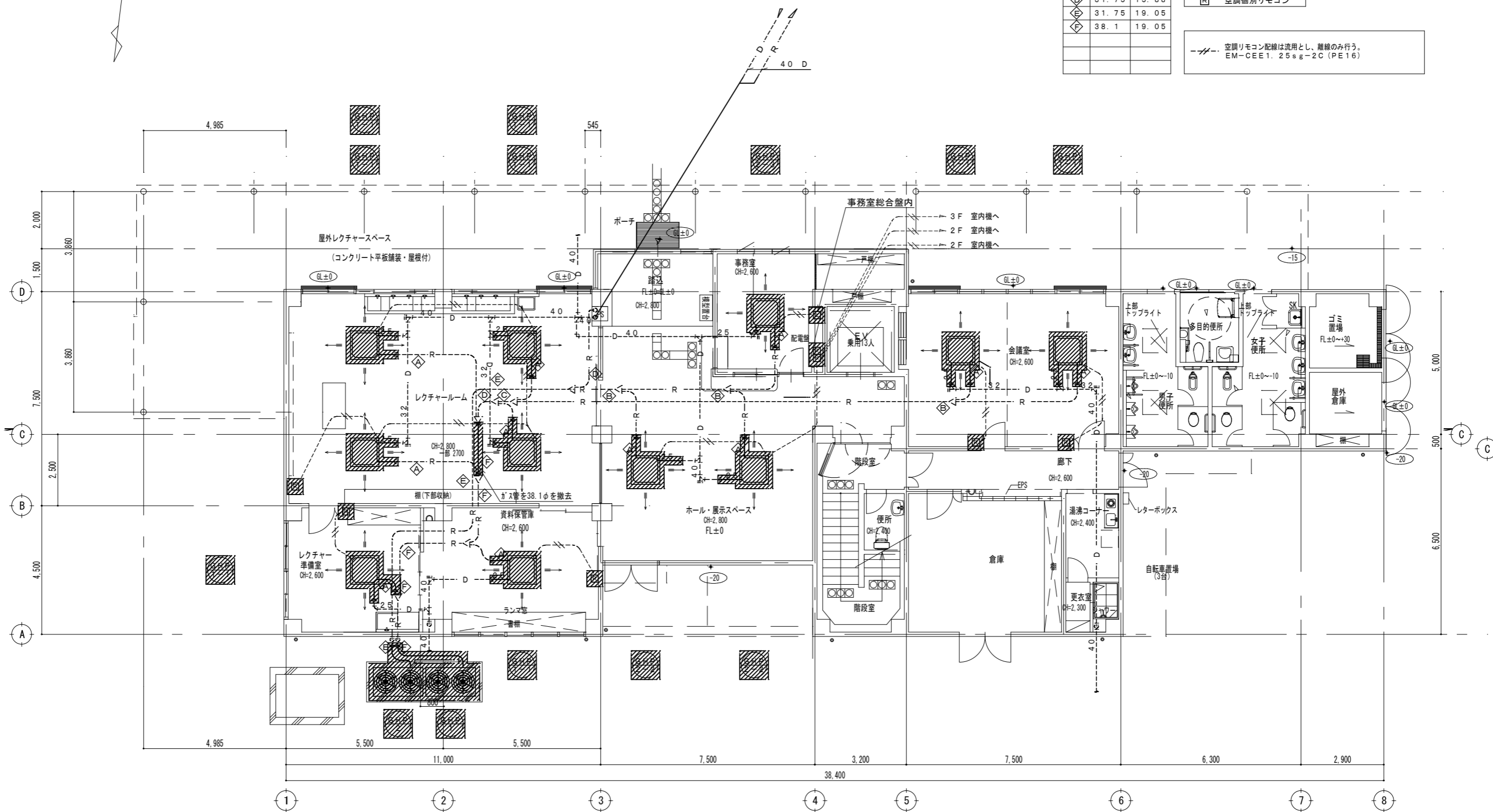
記号	ガス管	液管
△	15.88	9.52
◇	19.05	9.52
○	28.58	12.7
◇	31.75	15.88
△	31.75	19.05
◇	38.1	19.05

凡例

— R —	冷媒管 (撤去)
— D —	ドレン管 (撤去)
- - - R - - -	冷媒管 (流用)
- - - D - - -	ドレン管 (流用)
□	空調個別リモコン

空調室内機
天井カセット4方向

空調リモコン配線は流用とし、離線のみ行う。
EM-C EE1.25sq-2C (PE16)



注記

- ・ は既設機器・配管撤去箇所を示す。
- ・ 上記以外の特記なき箇所は、残置再使用とする。
- ・ 室内機・室外機間の配線EM-C EE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、離線のみ行う。
- ・ 電源配線は流用とし、離線のみ行う。
- ・ は、既設配管の切断部分を示す。
- ・ 室外機への都市ガス配管はフレキのみ撤去とする。

1階平面図 1/150

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	空調設備 撤去 1階平面図	縮尺	1:150
年月日	令和7年3月	図面番号	● M 12 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当

改修前・撤去



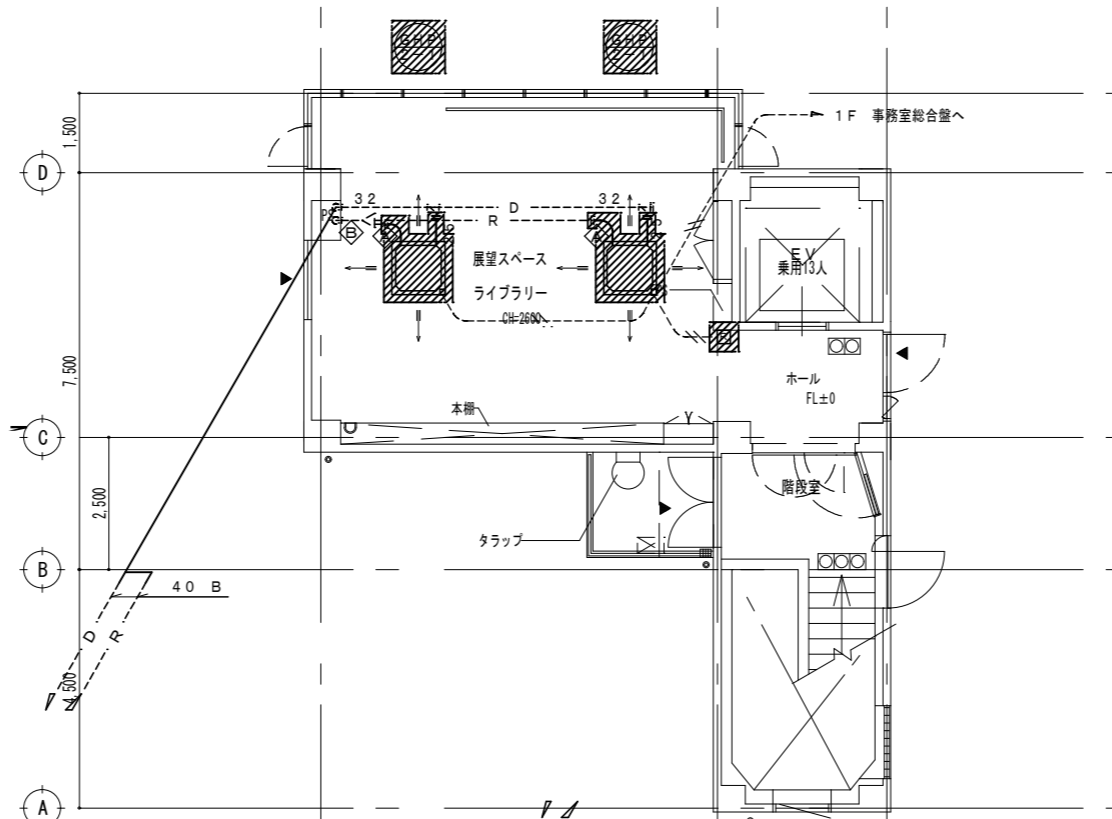
記号	ガス管	液管
△	15.88	9.52
◇	19.05	9.52
○	28.58	12.7
◇	31.75	15.88
◇	31.75	19.05
◇	38.1	19.05

— R —	冷媒管 (撤去)
— D —	ドレン管 (撤去)
- - - R - - -	冷媒管 (流用)
- - - D - - -	ドレン管 (流用)
□	空調個別リモコン

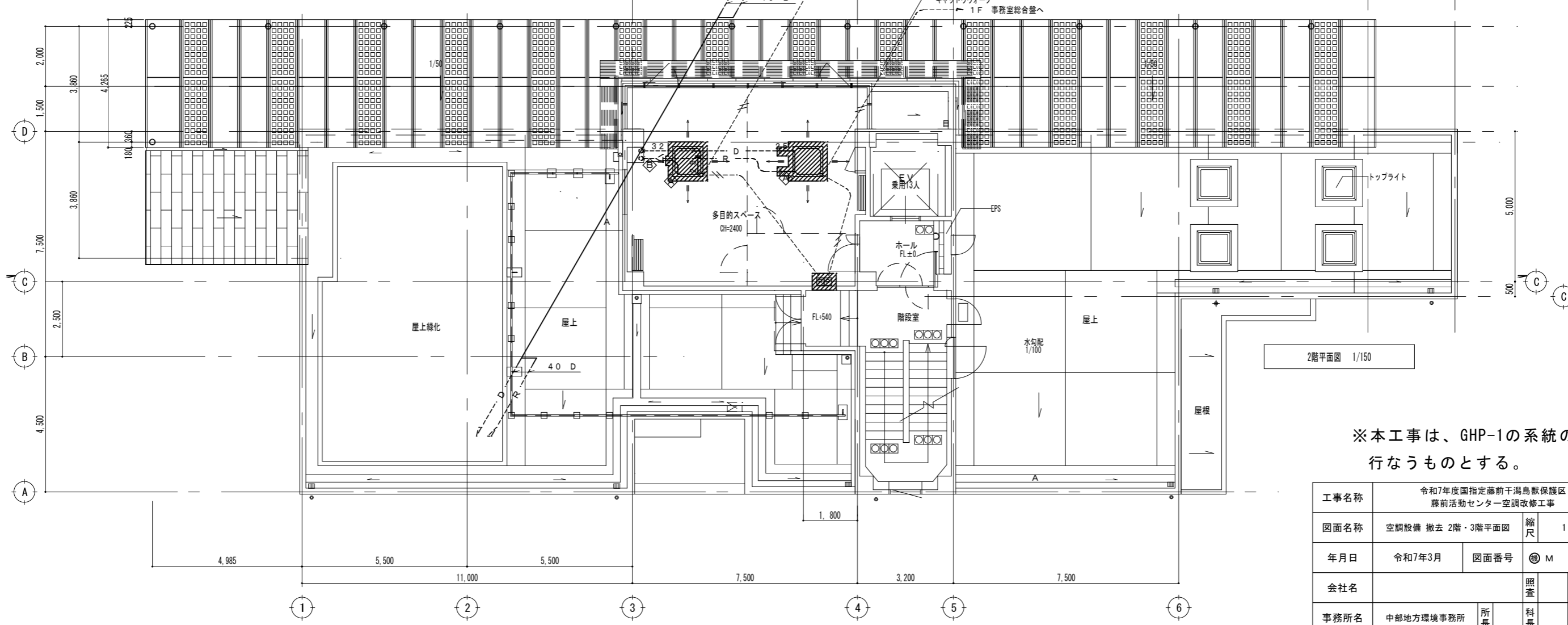
--- 空調リモコン配線は流用とし、離線のみ行う。
EM-CEE1.25sq-2C (PE16)

注記)

- は既設機器・配管撤去箇所を示す。
- 上記以外の特記なき箇所は、残置再使用とする。
- 室内機・室外機間の配線EM-CEE2.0sq-2C (冷媒管共巻) は流用とし、離線のみ行う。
- 電源配線は流用とし、離線のみ行う。
- --- は、既設配管の切断部分を示す。



3階平面図 1/150



2階平面図 1/150

※本工事は、GHP-1の系統のみを行なうものとする。

工事名称	令和7年度指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前活動センター空調改修工事		
図面名称	空調設備 撤去 2階・3階平面図	縮尺	1:150
年月日	令和7年3月	図面番号	● M 13 / 13
会社名		照査	設計
事務所名	中部地方環境事務所	所長	科長 担当